

平成 25 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	グリアアセンブリによる脳機能発現の制御と病態
領域代表者	池中 一裕（生理学研究所・分子生理研究系・教授）
研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、グリア細胞ネットワークを「グリアアセンブリ」と定義し、グリアアセンブリを中心に脳の形成、情報処理、精神疾患の発症機序を解明しようとする提案である。従来のニューロン中心の脳科学研究において、グリア研究は近年注目されている分野であり、「グリアアセンブリ」という概念からの切り口は斬新で、医学面での重要性・必要性も高い。</p> <p>研究組織について、各計画研究はそれぞれが十分な実績を有する基礎から臨床までの多様な研究者により構成されており、高い水準の研究成果が期待できる。また、若手人材育成・研究支援活動について積極的な取組が計画されているが、本分野の次世代を担う若手研究者の育成は極めて重要であり、領域代表者のリーダーシップと効果的なマネジメントに期待する。</p> <p>なお、個別に研究を進めてきたグリア研究者の中で「グリアアセンブリ」という概念について理解の違いが見られるため、有機的な連携のための工夫が必要である。</p>